

平成三十一年度

群馬県立女子大学 文学部 美学美術史学科

推薦入試問題

小論文

試験時間は、十時～十二時までの120分です。中途退室は認めません。

途中で気分の悪くなった場合は、黙って手を挙げて下さい。

問題用紙は、この表紙を含め十頁のうち最後の二頁は下書き用の白紙です。解

答用紙は三枚あります。

それぞれが配られたら、指示に従って解答用紙の各々の所定の欄に氏名、受験番号を記入して下さい。

試験開始の合図があるまで問題用紙の表紙をめくって問題を見てはいけません。

解答用紙の所定の欄に氏名、受験番号を記入し終えたら、静かに試験の開始を待って下さい。

問

題

次の文を読んで設問に答えなさい。

「癒し」てくれない芸術はなぜ存在するの？

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、  
ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

〔大原宣久「癒し」てくれない芸術はなぜ存在するのか?〕

吉岡洋・岡田暁生編『文学・芸術は何のためにあるのか?』、東信堂、二〇〇九年

こちらの部分は、著作権の都合により、  
ウェブサイトでの公表はしていません。



## 【設問】

問1 波線部(1)～(5)のカタカナを漢字に直しなさい。(各2点)

問2 破線部①～⑤の漢字の読みを書きなさい。(各2点)

問3 本文傍線部(a)「ベーコンは暴力を描き、表象しているわけではなく、鑑賞者に対する以上のような作用が、言うなれば暴力のシステムそのものなのです」とはどういうことか。200字以内で説明しなさい。(10点)

問4 本文傍線部(b)「そのような一見すると強大な「負」の力のなかにも、人間性や芸術そのものに対するある種の「救い」があると書いてもいい」について、なぜ著者はそのように考えるのか。250字以内で説明しなさい。(15点)

問5 「癒し」と芸術の関係について、著者の議論をまとめた上であなたの考えを800字以内で論じなさい。(30点)

下書き用紙